



地区高校総体終了！山商生躍動！！

今年度の地区高校総体が4月30日から5月28日にかけて開催されました。コロナ禍の影響で対外的な練習試合や十分な練習ができなかったり、十分なコンディションを整えることができなかったりした部もありましたが、以下に示すとおり山商生は各種目で大活躍してくれました。

《団体》

- 優勝 陸上女子（学校対抗フィールド）、体操男子、体操女子、バスケットボール男子
- 準優勝 陸上女子（学校対抗総合）、陸上女子（学校対抗トラック）、ソフトテニス女子
- 3位 陸上男子（学校対抗フィールド）、バドミントン男子、サッカー女子、水泳女子（学校対抗）
※レスリング競技は地区大会実施せず

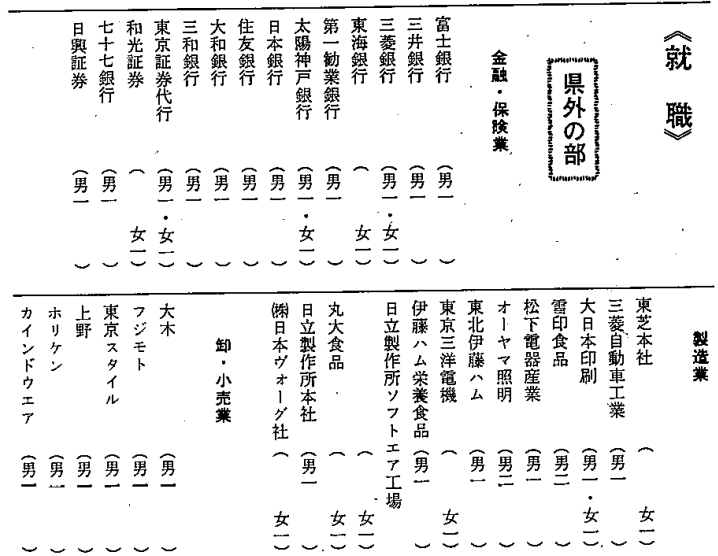
《個人》

- 優勝 渡邊壮大（陸上男子走高跳）、清野康介（同やり投：大会新）、高橋亜珠（陸上女子100m、200m、100m障害：大会新）、今井颯希（同棒高跳）、山口あすか（同砲丸投）、片桐莉々花（同円盤投・ハンマー投）、柴田悠希（体操男子個人総合、同床運動、同あん馬、同つり輪、同跳馬、同平行棒、同鉄棒）、安藤咲那（体操女子個人総合、同床運動）、星川華乃（同跳馬、同平均台）、晋道茉莉（同段違い平行棒）、伊藤大輝（水泳男子400m個人メドレー）、長岡愛海（水泳女子100m自由形：大会新、同200m背泳ぎ）、高橋美羽（同800m自由形）
- 準優勝 村岡さくら（陸上女子同棒高跳）、齋藤愛香（同三段跳）、山口あすか（同円盤投、同ハンマー投）、山商女子（同400mリレー、同1600mリレー）、大泉仁虎（体操男子個人個人総合、同床運動、同あん馬、同つり輪、同跳馬、同平行棒、同鉄棒）、星川華乃（体操女子個人総合、同床運動）、安藤咲那（同跳馬、同段違い平行棒、同平均台）、伊藤大輝（水泳男子200m平泳ぎ）、今野朱莉音（水泳女子50m自由形）、猪股愛希（同200m平泳ぎ、200m個人メドレー）、山商女子（同400mメドレーリレー）
- 3位 岡航希（陸上男子400m障害）、井上広大（同5000m競歩）、渡邊壮大（同三段跳）、清野康介（同砲丸投、同円盤投）、荒井りさ子（陸上女子400m）、齋藤愛香（同100m障害）、松田康太・成澤純太（バドミントン男子ダブルス）、成澤純太（同男子シングルス）、丸山霸王（体操男子総合、同床運動、同つり輪、同平行棒）、小玉好之助（同あん馬、同跳馬、同鉄棒）、晋道茉莉（体操女子個人総合）、荒井奏美（同段違い平行棒、床運動）、高橋るな（同平均台）、矢作もも（水泳女子200mバタフライ）、山商女子（水泳女子400mメドレーリレー：第1泳者の長岡愛海は100m背泳ぎで大会新）

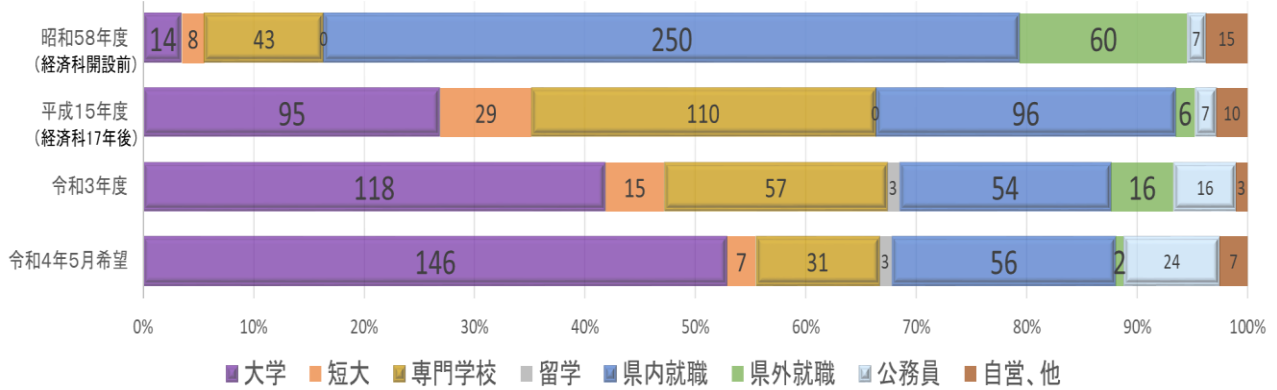
進路状況今昔・・・40年前と現在

(2月20日現在)

左の図は、今から約40年前(昭和57年2月現在)の県外就職の進路先の一部です。図書館から昔の生徒会誌「輸誠」をお借りしてコピーしました。すでに存在せず、皆さんには馴染みのない企業名もありますが、そのほとんどが日本を代表する一部上場企業です。特に銀行については、現在は「メガバンク」と言われている銀行の前身で、合併前は「都市銀行」と言われていた銀行名が並んでいます。皆さんの先輩方は、県内企業は言うまでもありませんが、県外の当時「一流企業」と言われた会社に就職して活躍していたのです。



時代の変遷によって、上記のような企業に高卒で入社するのが難しくなってきました。こうした状況を踏まえ、この数年後に学科改編して、大学進学を目指す学科である経済科が創設されました。全国的にも先進的な学科でした。その後の進路状況の推移は以下の通りです。



いかに「4年制大学」への進学者が増えていったが分かります。現在は、非常に多くの大学から指定校の選定を受けており、それを利用した学校選抜で合格する進学者が多くなっています。しかし、経済科発足当初はほとんど実績がないために、公募推薦以外はほとんどが一般選抜で受験したそうです。その後、長い年月をかけて一般選抜での合格実績を積み重ねた結果、首都圏の難関私大をはじめ多くの大学から指定校として指名されるようになりました。それは県内高校でも突出した質・量を誇っています。在校生の皆さんには、合格は自分の力だけではなく、先輩たちが築き上げてくれた「学校の看板」も大きく関わっていることを再確認してほしいと思います。

一方で、「県内就職」希望者数は近年それほど変化していません。「高校を卒業したら就職する。だから山商を選んだ」生徒も少なくありません。他の進学校に比べて、大学等を卒業した後に山形に戻って活躍している卒業生が多いのも山商の特徴です。

このように、山商は「部活動が盛んで強い」、「就職に強い」、そして「進学にも強い」学校です。